

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	西脇市健康づくり推進協議会
開催日時	令和5年7月13日（木） 午後1時30分～3時15分
開催場所	西脇市市民交流施設
出席委員の氏名又は人数	村上典正委員、南久雄委員、井上修一委員、岩井正秀委員、堀尾千恵委員、村上収委員、矢田清子委員、岡崎増美委員、齋藤博史委員、北山ゆかり委員、下山和久委員、高瀬徳美委員、時政良光委員、井本綾子委員 計14名
欠席委員の氏名又は人数	富永なおみ委員、清水泰明委員 計2名
出席職員の職・氏名又は人数	くらし安心部長 萩原靖久 福祉部 はぴいくサポートセンター長 村井真紀、長寿福祉課長 藤本祐司 くらし安心部 保険医療課長（部長兼務）、健幸都市推進課長 依藤嘉久、同課課長補佐 比留田展忠、同課課長補佐 岡本洋子、同課主査 西村香 計7名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0人
議題又は協議事項	(1) 令和5年度の市組織改編について (2) 令和4年度保健事業実施報告及び令和5年度保健事業実施計画について (3) 健幸運動教室 Ni-Co及びにしわき健幸ポイント事業について (4) 健康増進計画策定のためのアンケート調査結果について (5) その他 ア 健康診査事業について イ 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

会議の記録（概要）	
	1 開会 2 挨拶 3 委員紹介 4 会長・副会長選出 5 報告・協議
発言者	(1) 令和5年度の市組織改編について
事務局	(令和5年度の市組織改編について説明)
会長	報告について質問はないか。
委員	組織改編によって、茜ヶ丘複合施設みらいえの子育て学習センターや児童館はどうなったのか。
事務局	児童館の場所に変更はないが、所管が福祉部こども政策課に変更になった。
	(2) 令和4年度保健事業実施報告及び令和5年度保健事業実施計画について
事務局	(令和4年度保健事業実施報告及び令和5年度保健事業実施計画について説明)
会長	報告について質問はないか。
委員	健幸運動教室 Ni-Coの参加人数がどんどん増えているのは良いことだが、既存の3会場から増やしたり、1会場あたりの人数を増やしたりする考えはないのか。
事務局	健幸運動教室 Ni-Coは5年度も新規で800人増えており、現在のところ、6年度及び7年度も拡大実施する方向である。1教室あたりの人数については、今年と同様に前年度から少し増やして既存の3会場で受け入れる想定だが、参加者の安全を第一に考えて検討したい。
委員	3ヶ月健診の受診率は高いが、股関節検診でたまに1箇月程度遅れて受診する人がある。こどもの1箇月はものす

	ごく大きい、受診勧奨はしているか。
事務局	検診会場で早めの受診を指導している。今後も未受診の方があれば積極的に勧奨していく。
委員	妊婦歯科健診の受診率が対象者の3分の1ということだが、受診率が低い理由は。
事務局	母子手帳交付時に案内しているが、つわりなど体調が原因ですぐに受診しづらい場合が考えられる。体調が落ち着いてからの受診を勧奨していく。
委員	特定健診の受診件数の中に、医療機関からのデータ提供は含まれているのか。
事務局	含まれている。さらなる利用促進に向け、引き続き啓発に努める。
委員	西脇市の検診受診率は県内平均より高く、コロナ禍で下がった分も回復傾向にある。今年度、さらなる受診率の向上に向けて取り組むことがあれば教えていただきたい。
事務局	本市の検診受診率について、3年度は39%程度だったが、4年度は36%程度とやや低下する見込みである。本市の受診状況は北播磨の中では高い水準にあるものの、市データヘルス計画の目標値には及ばないため、5年度は従来の電話・ハガキによる勧奨に加えて、新たにショートメッセージでの勧奨を考えている。また、国民健康保険の方には、検診受診者を対象に自治体版マイナポイントをインセンティブとして付与する取組を検討し、無関心層の喚起に努める。
委員	成人保健の対象者数と検診受診率はどの程度か。自殺に関する相談のフォローアップはしているのか。
事務局	特定健診の対象数は約6,000人。がん検診は40歳以上、子宮がん検診は20歳以上と対象数が異なる。胃がん、肺がん、大腸がんは約12,000人、子宮がん検診は9,000人弱、

	<p>乳がん検診は約 8,000人。自殺の相談後のフォローアップについては、相談者との関係づくりに努めながら、必要に応じて関係機関を案内している。場合によっては訪問することもある。</p>
委員	<p>健幸運動教室 Ni-Coはいつまで継続して参加できるのか。</p>
事務局	<p>事業開始当初は、2年間の継続参加が運動習慣の定着に繋がるという研究結果に基づき、参加期間を2年間に制限する予定であった。ところが、本市では継続参加を希望する声が想定以上に寄せられたことから、運動実施率の向上を重視して期間の制限を廃止した。ただし、その分、財政負担は大きくなっている。5年度分の財源は確保済みであるが、6年度及び7年度分についてもなんとか確保に努めたい。8年度以降の事業実施は現在のところ未定である。</p>
委員	<p>新型コロナウイルスについて、近隣市町で学校閉鎖が相次いでいる。市内の感染状況と現場での適切な対応についてどう考えるか。</p>
委員	<p>5類移行後は定点報告に変わったため、正確な感染状況は不明。増加傾向にあるのは確実だが、今のところ、ウィズコロナとして社会生活を進めるしかない。高齢者については、体力を消耗して亡くなったり入院されたりといった方があるので注意が必要と言われている。</p>
委員	<p>感染したとしても、若者等の体力がある方はそれほど心配する必要はないと思う。ただし、自宅に高齢者がいる場合などは配慮が必要。</p>
委員	<p>健幸ポイント事業のインセンティブは当初、最高 6,000ポイントだったが、3年目は最高 2,000ポイントに設定された。最終的には、インセンティブなしでもウォーキングを継続したくなるような状態を目指しているのか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおり。事業規模の拡大に伴ってコストも増大しているが、1年目及び2年目の参加者の運動習慣定着を重点的に支援したい。インセンティブについては先行自</p>

	<p>治体において抽選方式等を試行し、一定の成果があったと聞いている。それらを参考により良い方法を検討したい。</p>
委員	<p>質問ではないが、7年前から経済産業省の呼びかけで健康経営優良法人認証制度が始まった。企業で働く従業員の健康管理を経営的な視点で捉えて、精力的に取り扱いをしているといったような企業を公表することによって、企業の価値を高めていこうという制度です。市内でも何社か出てきたので、この場で情報共有しておく。</p>
委員	<p>西脇市は、産後ケアの宿泊型支援に早くから取り組まれており、うれしく思う。今後も出産する方への手厚い支援を続けてほしい。ただ、はびいくへの相談件数が多いのが気になった。どのような相談内容が多かったのか。</p>
事務局	<p>報告件数の中には、こちらから声がけしたものも含まれている。相談が多いのは、こどもの成長や育ちに関するもののほか、離婚やDVに関するものなど厳しい内容のものもあり、丁寧な対応を心掛けた。</p>
委員	<p>町ぐるみ健診は、以前、市内何箇所かで実施していたが今は1箇所である。今後もこの方針を継続するのか。</p>
事務局	<p>以前は各地区の小中学校などで町ぐるみ健診を実施していたが、会場によって空調や利用者の安全性などに制約があった。そこで、新庁舎のオープンに合わせて、効率的な動線や安全性を確保できるオリナスホールに集約した。変更当初は受診率の低下を懸念していたが、逆に、公共交通機関との接続性の高さなどから、高齢者の受診が増加している状況である。今後もこの方針を継続していきたい。</p>
事務局	<p>(3) 健幸運動教室 Ni-Co及びにしわき健幸ポイント事業について</p> <p>(健幸運動教室 Ni-Co及びにしわき健幸ポイント事業について説明)</p>
会長	<p>報告について質問はないか。</p>

委員	<p>参加者が一番喜んでいるのは体力年齢の若返りだ。さらに医療費や介護給付費が低下していれば申し分ないが、分析結果はいつごろ出るのか。</p>
事務局	<p>全体的な傾向を示す「中間報告」が9月、詳細を評価・分析する「最終報告」が3月に提出される見込みである。結果は市のホームページや議会などで公表する。</p>
委員	<p>目標歩数の設定は難しい面がある。例えば、膝を痛めても歩数を伸ばそうとしてしまう方がある一方、2,000歩がやっとの方もある。推奨歩数の達成より、その人に合った負荷で、長期間継続することが大切。歩数ランキングはそろそろやめてはどうか。年齢にもよるが、5,000歩も歩けば十分なのではないか。</p>
事務局	<p>歩数ランキングについては、事業開始当初、平均歩数に達していない方が多かったことから励みにしてもらおうと掲示し始めたものである。しかし、今では十分役目を果たしたことから、今後のあり方について早急に見直したい。また、5,000歩の件であるが、昨年度の当協議会で報告したとおり、目標歩数達成への分岐点が5,000歩であったことから、4年度は、まず5,000歩を目指すよう指導してきた。しかし、推奨歩数は個人に応じて異なっているので、必ずしも5,000歩以上歩かなければならないというわけではない。今後も無理をさせない指導を心がけていく。</p>
委員	<p>参加者の男女比は。また、PRチラシの写真は女性ばかりなので、がんばっている男性も掲載してほしい。</p>
事務局	<p>健幸運動教室 Ni-Coの男女比は、男性20%、女性80%程度で、健幸ポイント事業は、男性36%、女性64%程度である。チラシの写真については意図して女性のみにしたわけではないが、今後、男性の参加も増やしていきたいので、次年度のチラシ作成時には留意する。</p> <p>(4) 健康増進計画策定のためのアンケート調査結果について</p>

事務局	(健康増進計画策定のためのアンケート調査結果について説明)
会長	報告について質問はないか。
委員	健康と自殺はまったく異なる内容だと思うが、調査対象は重複しているのか。
事務局	健康増進や栄養に関する調査は 2,000人に対して実施し、自殺に関する調査は別の 1,000人に対して実施した。そのため、両者は重複していない。
	(5) その他 (ア 健康診査事業について)
事務局	(健康診査事業について説明)
会長	報告について質問はないか。
委員	胃がん検診の受診率が下がっているが、ABC健診も対象に含んでいるのか。
事務局	胃がん検診の定義は、国の指針に基づき、バリウム検査と50歳以上を対象とするカメラ検査であることから、ABC検診は含めていない。なお、ABC検診の受診者も初年度の約800人から徐々に減少しているところであるが、胃がん検診受診の契機とするため、未受診者に勧奨していく。
	(6) その他 (イ 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について)
事務局	(新型コロナウイルスワクチンの接種状況について説明)
会長	報告について質問はないか。 特にないようなので、以上で報告・協議を終わる。
問合せ先	西脇市くらし安心部健幸都市推進課